

# 低炭素地域づくり

## 地域の自然やまちなどの資源を活かした低炭素で活力のある地域づくり

### 将来像

- ・ リニア中央新幹線の供用による**地域の雇用創出・活性化と低炭素化が両立**している。
- ・ 地域の**自然エネルギー**を有効活用した**人・カネ・エネルギーの地域内循環**の輪が拡大している。
- ・ **災害時のエネルギー供給**に再生可能エネルギーなど**自立分散型エネルギー**が有効活用されている。

### 指標項目

- ✓ 検討中

### 現状と課題

1. 2013 年に開催された国連気候変動に関する政府間パネル (Intergovernmental Panel on Climate Change) の第 5 次報告書では、温暖化について「疑う余地がない」、また 1880～2012 年において世界の平均地上気温は 0.85℃上昇したといった報告がされている。
2. アンケートでは、必要だと思われているのに満足度の低い「重点改善分野」として「避難所等への再生可能エネルギーの整備」、「CO2 の吸収源対策の推進」等が挙げられている。これらの項目は今後、重点的に改善していく必要がある。

詳細な現状と課題については本市の温室効果ガスの推計を行った後に記載します。

### 基本方針

- ① 省エネルギーなどエネルギーの効率的な利用の促進
- ② 災害に強く地域を元気にする再生可能エネルギーの導入促進
- ③ 建築物や交通インフラなど都市構造の低炭素化
- ④ 森林吸収源対策
- ⑤ 行政による率先行動

### 基本施策

- ・ 家庭生活や事業活動におけるライフスタイルの変革
- ・ 省エネルギー設備や機器の導入・利用 (LED 照明など)
- ・ その他 (車を使わない観光)
- ・ 太陽光発電、太陽熱利用の導入促進
- ・ 小水力発電、木質バイオマス熱利用の導入促進
- ・ 防災対策としての再生可能エネルギーの導入
- ・ 再エネの活用による利便性向上や地域活性化
- ・ 建築物の省エネルギー化、スマートハウス導入の促進
- ・ 街路灯、公共交通など基盤となるインフラの低炭素化
- ・ 環境にやさしい交通システムの促進
- ・ エコカーの導入促進、エコドライブの促進
- ・ 市民、企業等による森づくり (カーボンオフセット等も含む)
- ・ 木材の利用促進
- ・ 行政の事務・事業における率先行動
- ・ その他 (メタン・一酸化二窒素、フロン類等の対策など)



太陽光発電の導入例



省エネ例：LED 街路灯

### リニア中央新幹線関連施策

#### ◆リニア中央新幹線のまちづくりに合わせた低炭素化・地域活性化の促進

リニア中央新幹線開通に備え、定住推進や地域活性化、雇用創出なども視野に入れた低炭素地域づくりを推進する。

#### (取組例)

- ① リニア中央新幹線駅や車両基地などのリニア中央新幹線開発に合わせて整備する都市基盤の低炭素化 (建築物、街路灯、乗継交通等)
- ② リニア中央新幹線工事作業員や車両基地従業員等の定住推進を狙った低炭素型街区の検討
- ③ 中津川ならではの産直木造スマートハウスの開発とブランド化の検討
- ③ リニア中央新幹線と低炭素まちづくりを絡めた観光 (視察ビジネスなど) の振興
- ④ 再生可能エネルギーの導入や学習など、市民・子どもたちに向けた環境教育・啓発

## 重点プロジェクト

<b>重点プロジェクト名</b>		<b>小水力発電、木質バイオマス熱利用の導入促進事業</b>
<b>重点プロジェクトのねらい</b>		中津川市は豊かな森林とそれに育まれた清流に恵まれています。その地域特性を活かし、再生可能エネルギーの中でも特に小水力発電と木質バイオマスの熱利用に着目し、地域の低炭素化と活性化の取組みを進めます。
<b>個別事業①</b>	<b>事業名</b>	木質バイオマスの産業部門への活用事業
	<b>事業内容</b>	間伐材や製材端材などから製造した薪・チップ・ペレットを観光施設の暖房や加温、農業用ハウスの空調などの熱エネルギーとして利用し、その取組みを付加価値とした低炭素地域の実現に向け関係機関と連携し検討を進めます。
	<b>期待される効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料代替による地域の低炭素化</li> <li>・観光業、農業などの産業の付加価値向上と地域の活性化</li> </ul>
	<b>所管課</b>	環境政策課、観光課、農業振興課、工業振興課など
	<b>関係主体</b>	観光業者、農業事業者、市など
<b>個別事業②</b>	<b>事業名</b>	家庭・事業所等への木質バイオマスの導入促進事業
	<b>事業内容</b>	家庭や事業所において木質バイオマスボイラー、薪ストーブ・ペレットストーブなどの導入を促進するために、これらの機器や導入事例等の啓発活動や導入希望者への技術的支援などを行うとともに、補助金制度を設け導入を支援します。
	<b>期待される効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料代替による地域の低炭素化</li> <li>・森林の適正管理とバイオマス資源の有効活用</li> </ul>
	<b>所管課</b>	環境政策課、林業振興課
	<b>関係主体</b>	市民、民間事業者、市
<b>個別事業③</b>	<b>事業名</b>	地域の活性化に結びつく小水力発電の開発事業
	<b>事業内容</b>	市域内の小水力発電の高いポテンシャルを活かし、適地調査や事業化の検討・準備・仕組みづくりなど、小水力発電所の開発と民間事業者の資金の活用も含めた地域活性化につながる事業化を進めます。
	<b>期待される効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料代替による地域の低炭素化</li> <li>・再生可能エネルギーによる地域の活性化</li> </ul>
	<b>所管課</b>	環境政策課、農林整備課
	<b>関係主体</b>	地域、民間事業者、市、関係機関等

<b>重点プロジェクト名</b>		<b>防災対策としての再生可能エネルギーの導入</b>
<b>重点プロジェクトのねらい</b>		東日本大震災以降、災害に備えた再生可能エネルギーの導入の重要性が再認識されています。災害時に電気等のインフラが途絶えた際、防災拠点や避難所において通信、照明、暖房、給湯など必要なエネルギー利用ができるよう、太陽光、太陽熱、バイオマス、小水力などの再生可能エネルギーや蓄電池、高効率照明、燃料電池などの付帯設備を整備します。
<b>個別事業①</b>	<b>事業名</b>	防災拠点となる地域事務所・地域総合事務所への導入
	<b>事業内容</b>	地震や風水害などの災害時に地域の防災拠点となる地域事務所・地域総合事務所において、太陽光発電などの再生可能エネルギーや蓄電池の整備を順次行います。また、導入した設備は平常時には低炭素化と地域活動の活性化に活かします。
	<b>期待される効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料代替による地域の低炭素化</li> <li>・災害時など非常時のエネルギー供給</li> </ul>
	<b>所管課</b>	環境政策課、防災安全課、各地域事務所、地域総合事務所
	<b>関係主体</b>	市
<b>個別事業②</b>	<b>事業名</b>	避難所（小中学校等）への導入
	<b>事業内容</b>	地震や風水害などの災害時に避難所となる小中学校に太陽光発電などの再生可能エネルギーや蓄電池の整備を行います。整備した設備は環境教育などにも活用します。
	<b>期待される効果</b>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・化石燃料代替による地域の低炭素化</li> <li>・災害時など非常時のエネルギー供給</li> <li>・小中学生への環境教育</li> </ul>
	<b>所管課</b>	環境政策課、防災安全課、教育委員会
	<b>関係主体</b>	市

循環型地域づくり

ごみ減量化・再利用・再生利用と地域資源の活用による循環型地域づくり

将来像

- ・ごみ減量化、リサイクル等が徹底され、環境への負荷を低減した**循環型社会**を構築している。
- ・環境保全に配慮した適正処理と処分の体制が継続して維持されます。
- ・木質バイオマス等を地域資源として、無駄なく**地域内で循環的に利用**し、**産業振興**にも役立っています。

指標項目

✓ 検討中

現状と課題

1. 平成17年の大合併以降、廃棄物の総排出量には、ほぼ変化がみられない。その一方で、人口当たりのごみ排出量は増加している。



資料：中津川市ごみ減量検討市民会議 資料

2. 今後は、ごみ減量（リデュース）、再利用（リユース）、リサイクル（再生利用）の取組を更に進め**総排出量および人口あたりの排出量を減らす必要がある。**
3. アンケートでは、必要だと思われているのに満足度の低い「重点改善分野」として「**ごみ減量の啓発**」が挙げられている。この項目は今後、重点的に改善していく必要がある。

基本方針

- ① **ごみ減量化の促進 (Reduce)**
- ② **再利用、リサイクルの推進 (Reuse) (Recycle)**
- ③ **環境保全に配慮した適正処理・処分**
- ④ **森林バイオマスなど地域資源を活用した循環型社会の構築**

基本施策

- ・ 家庭系、事業系ごみの排出抑制に係る普及啓発
- ・ ごみ処理手数料の有料化や処理料金見直しなどの検討
- ・ 生ごみ堆肥化、有効利用の促進
- ・ レジ袋削減、詰替商品購入に関わる啓発
- ・ 事業系ごみ減量に関する計画書の提出促進
- ・ ごみの減量と3Rの推進への市民・事業者意見の反映
- ・ 不用品紹介制度検討や大型ごみ等のリユース促進
- ・ リサイクルセンターの建設・運用
- ・ 紙ごみ、衣類ごみなどの資源化促進
- ・ 集団資源回収やリサイクルボックスの活用促進
- ・ 使用済み小型家電の再資源化の検討
- ・ 廃棄物処理施設の効果的な運用
- ・ 不法投棄への対応（監視、意識啓発）
- ・ 生活排水処理施設整備推進と適正管理
- ・ 将来の廃棄物処理施設の計画立案
- ・ バイオマス資源（間伐材、製材端材、刈草、剪定枝等）をストックとエネルギーの両面で循環的に利用する仕組みづくり



リサイクルボックス



ペレット工場

リニア中央新幹線関連施策

◆**リニア中央新幹線の町にふさわしい環境への負荷をできる限り低減した循環型社会を意識したまちづくり**  
市民生活や事業活動から発生する廃棄物をできる限り削減し、資源として地域で生かして取組を推進する。

（取組例）

- ① リニア中央新幹線関連工事や企業進出による流入人口の増加に伴う廃棄物増加への対応
- ② 他地域とのネットワーク形成による地域資源循環圏の構築
- ③ 未利用の地域資源を有効活用した新たな製品・特産品等の開発と販売促進
- ④ トンネル残土を利用した埋立てによる用地確保
- ⑤ 新設・改良された工事用道路の有効活用 など

注記：「循環型地域づくり」は、一般廃棄物処理基本計画の計画内容のほか、森林バイオマスなど地域資源の活用による資源循環に関わる取組を含むこととする。

重点プロジェクト

重点プロジェクト名		ごみ減量化（3R（スリーアール）の促進）
重点プロジェクトのねらい		中津川市内で発生する一般廃棄物量はここ数年横ばいの状況が続いています。平成25年度環境省一般廃棄物処理事業実態調査では、中津川市民一人が1日あたりに排出する家庭ごみの量は岐阜県内21市の中で最も多い結果を示しており、ごみ処理経費では年間約10億2千万円もの費用が毎年税金収入から投じられています。さらに最終処分場の残余期間は約14年となり、将来に向けてごみの減量化と3R、いわゆる排出抑制（リデュース）と再利用（リユース）、再生利用（リサイクル）を推進し、循環型社会の構築を目指します。
個別事業①	事業名	レジ袋の削減、過剰包装の抑制、詰替商品購入促進等、リデュース促進事業
	事業内容	レジ袋の有料化や、必要以上の過剰包装が抑制されるよう、小売店と連携した啓発活動を行っていきます。また、「マイバッグ運動」と「詰替商品購入促進」の更なる推進について、市民への周知啓発を行います。
	期待される効果	ごみ排出量の削減
	所管課	環境政策課
	関係主体	市民、小売店、市
個別事業②	事業名	布類及び紙類のリユース・リサイクル普及促進事業
	事業内容	燃えるごみの組成割合の約4割を占める布類と紙類を環境センターで焼却するのではなく、資源物として民間事業者によるリユース又はリサイクルのルートに乗せ、ごみ減量化を図ります。
	期待される効果	ごみの排出量の削減、リサイクルの推進
	所管課	環境政策課、環境センター
	関係主体	市民、民間事業者、小売店、市
個別事業③	事業名	刈草・剪定枝などの堆肥化事業
	事業内容	日常生活や公共事業から大量に排出される刈草や剪定枝をごみとして焼却してしまうのではなく、集積後堆肥化し、作られた肥料を各家庭や農家等で利用する仕組みを構築します。
	期待される効果	ごみの排出量の削減、環境にやさしい農業の振興
	所管課	環境政策課
	関係主体	市民、民間事業所、市
個別事業④	事業名	ごみ減量に関する広報活動の充実事業並びに「住みよい環境づくり推進員」と協力した地域啓発活動推進事業
	事業内容	広報への連載やHPの充実、回覧板、チラシ、イベントでの企画、暮らしの情報メール、マスコミ等の協力など様々な手法を活用し、ごみに関する情報やごみ減量の意識を広げます。また、各地域の「住みよい環境づくり推進員」等と連携して、地域で意識を高める説明会や出前講座の開催を行います。
	期待される効果	ごみの出し方・ごみ減量に関する市民の意識向上 地域全体でごみや環境美化問題の解決に取り組む姿勢意欲の向上
	所管課	環境政策課 広報広聴課 市民協働課
	関係主体	市民、中津川市住みよい環境づくり推進員、地域役員、市
個別事業⑤	事業名	ごみ処理手数料の有料化の導入（検討）事業
	事業内容	ごみ減量対策として効果がある「ごみ処理手数料の有料化」導入について検討を進めます。また、手数料有料化に伴って起こりうる課題や手数料収入の使途については、先行して取組んでいる自治体の状況等を参考にしながら、市民の声を踏まえた料金、収集体系の検討も行います。
	期待される効果	ごみ排出量の削減、最終処分場の延命化、財政負担の軽減、リサイクル事業への投資
	所管課	環境政策課 環境センター
	関係主体	市民、民間事業者、市

重点プロジェクト名		木質バイオマスの循環的な利用の仕組みづくり
重点プロジェクトのねらい		市内では、嘗てほど木質バイオマスが有効な資源として利活用されていない状況から、森林整備から活用まで、木材と資金が循環する仕組みづくりを検討し、市域の約8割を占める森林の「持続可能な森林づくり」と「木材の循環的な利用」を進めます。
個別事業①	事業名	木質バイオマスの予想発生量、利用状況等に関する調査事業
	事業内容	木質バイオマスに関して、間伐実施状況等の発生量、生産された目木材の流通経路、市内の工務店や製材所等での製材・端材の利用、廃棄状況等の調査を行います。
	期待される効果	活用が見込まれる市内の木質バイオマスの情報 地域内での需給関係情報
	所管課	林業振興課、環境政策課
	関係主体	森林組合、民間事業者（団体、製材、流通業者等）、市
個別事業②	事業名	バイオマス燃料（ペレット燃料等）の生産に向けた研究事業
	事業内容	地域内の工務店や製材所等で発生する製材・端材や間伐材を活用した木質ペレット等のバイオマス燃料の生産に向け、関係する団体等と協議を行い、支援の方法を検討します。
	期待される効果	未利用木材バイオマスの活用 木材を活用した新産業育成 安定した供給による木材ペレット等を利用する施設の増加
	所管課	林業振興課、環境政策課
	関係主体	民間事業者（団体、製材、流通業者等）、市
個別事業③	事業名	木質バイオマスの利用促進事業
	事業内容	木質バイオマスの民生利用を促進するために、薪ストーブやペレットストーブの購入設置に対して補助金制度を創設します。また、市内でバイオマス燃料が安定的に供給される流通の仕組みを民間事業者等と構築します。
	期待される効果	端材・廃材の有効利用 ストーブ、薪・ペレット販売店への受注増加 化石燃料を使用しない環境にやさしいライフスタイルの実現
	所管課	環境政策課、林業振興課
	関係主体	市民、民間事業者（販売店、団体、製材、流通業者）、市

自然共生社会づくり（生物多様性中津川戦略）

連携と協働による持続可能で自然を活かした地域づくり

将来像

- 春はシデコブシ、ハナノキ、ヒトツバタゴが彩る耕作地、夏には森林と清流のせせらぎ、秋には里山の紅葉や味覚、冬は雪の恵那山など**四季を通じた中津川市の自然が感じられる生活**が維持されている。
- 市民が良好な**環境を守る活動に積極的に取り組み**、さらに**流域内での交流**を通じて活動の輪が広がる。

指標項目

- ✓ 検討中

現状と課題

1. 世界でもこの地方にのみ分布する**希少植物等の自生地**の多くで**環境が悪化**している。
2. **特定外来生物の生育地**の拡大が顕在化している。
3. エコツーリズムやアグリツーリズムなどの体験型観光を通じて**自然と共生し発展し続ける地域づくりの推進**が重要となる。
4. 市民や企業が主体的となる環境保全活動が継続・拡大されるための支援を行う必要がある。
5. リニア中央新幹線時代に向け、市内に残る貴重な里地里山環境と共存させるとともに、観光資源として活用する取組みが必要である。



川辺に蔓延るアレチウリの除去



切られてしまったシデコブシ

基本方針

- ①中津川の自然を守る仕組みをつくる
- ②中津川の自然を理解する
- ③中津川の自然を保全する
- ④中津川の自然を活かす

基本施策

- 自然環境団体の活動が継続できる仕組みづくり
- 自然環境の保全のための人材育成
- 自然環境に関する啓発物や教材等の作成
- (仮称)自然環境保全地区の指定
- 希少動植物、天然記念物等の現状調査
- 外来生物の現状調査
- 環境モニタリング調査
- 自然環境に関する情報の蓄積、発信
- (仮称)自然保全地区の指定
- 希少動植物、天然記念物の保護活動
- 特定外来生物の駆除活動
- 森林及び里地里山の整備の推進
- 鳥獣保護及び有害鳥獣対策
- 山・川・海の連関や清流の保全に関する施策の推進
- 環境学習や環境保全活動、エコツーリズム等の実施
- 自然資源を活用した物品の生産・販売
- 博物館、自然体感型施設、林業施設等の充実と活用
- 環境配慮型公共施設(学習、福祉等)の充実
- 木曾川上下流域での交流



シデコブシ調査活動



名古屋市児童との交流

リニア中央新幹線関連施策

◆リニア中央新幹線事業に備えた自然環境の保護対策と観光などへの有効活用

リニア中央新幹線関連工事に伴う自然環境への負荷に対して、守るべき環境を保全し、後世に伝えていくとともに、中津川市の豊かな自然に磨きをかけ、観光や農林業、産業とからめて内外にアピールしていく取組を実施。

(取組例)

- ① ウォーキング、森林浴、紅葉狩り等手軽に楽しめる場の整備。
- ② 神宮備林や渓谷など貴重なスポットの見学体験ツアー
- ③ 自然とのふれあい型アウトドアの場やガイド等受け入れ態勢の整備
- ④ 山菜採りや川魚釣り、そば打ちなどの体験ツアー
- ⑤ 自然を活かした体験スポーツの企画
- ⑥ インストラクターの養成
- ⑦ 地域コーディネーター組織の育成
- ⑧ 農林業等産地産業や伝統芸能を活用した実演体験、収穫体験等
- ⑨ 自然環境教育、自然に触れる機会の創出による子供や市民の環境意識の向上
- ⑩ 市民・企業・行政の協働による自然・景観・環境を守るためのルール作り
- ⑪ オーナー制・トラスト制などを活用した耕作放棄地や荒廃森林の利活用による農地・森林の整備

重点プロジェクト

<b>重点プロジェクト名</b>		シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴ等東海丘陵要素植物の生育地の保全と継承
<b>重点プロジェクトのねらい</b>		中津川市の自然環境において象徴的な「シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴ」などを後世に継承するための保全対策を実施します。
<b>個別事業①</b>	<b>事業名</b>	希少動植物の自生地分布と現状の調査 (生物多様性保全上重要な湧水湿地、里地里山などの現状調査)
	<b>事業内容</b>	大学や研究機関、環境団体、専門家などと連携し、保護すべき希少動植物の分布状況と自生地の現状を調査するとともに、その結果をまとめたマップやデータベースを作成します。 特に、東海丘陵要素植物が自生地する里地里山や湧水湿地の調査を進めます。 また、調査結果をもとに保存体制・方針を検討し、自生環境の改善に向けた取組を進めます。
	<b>期待される効果</b>	・基礎データの蓄積を通じた科学的知見に基づく自生地保全・開発行為による自生地消失の未然防止
	<b>所管課</b>	環境政策課
	<b>関係主体</b>	大学、研究機関、環境団体、市
<b>個別事業②</b>	<b>事業名</b>	希少動植物の重要自生地の保全活動（天然記念物を含む）
	<b>事業内容</b>	東海丘陵要素植物の重要な自生地（里地里山や湧水湿地など）での保全活動を推進します。具体的には、希少動植物の自生地分布と現状の調査に基づき改善が必要な自生地について、支障木の伐採や湿地環境の保全などの環境整備を推進し、自然更新が行われるような環境づくりを目指すとともに、遺伝子の多様性の配慮を前提とした保護増殖活動にも取り組みます。
	<b>期待される効果</b>	・中津川市の魅力である大切な資源の後世への継承 ・シデコブシ・ハナノキ・ヒトツバタゴの自生環境の改善 ・保全活動の協働作業を通じた地域の活性化と連携強化
	<b>所管課</b>	環境政策課、文化振興課
	<b>関係主体</b>	市民、環境団体、市
<b>個別事業③</b>	<b>事業名</b>	天然記念物や自然環境保護地区の指定と保存
	<b>事業内容</b>	良好な生態系を有し、後世への継承の価値がある学術的にも重要な自然については、天然記念物や自然環境保護区域、保存樹などの新規指定を目指すとともに、学者や環境団体、地域住民等と連携して適切な方法で保存します。
	<b>期待される効果</b>	・持続可能な開発の視点からの、自然環境保全と開発との共存共栄 ・自然環境保全活動の活発化
	<b>所管課</b>	環境政策課、文化振興課
	<b>関係主体</b>	有識者、市

<b>重点プロジェクト名</b>		里地里山及び清流の保全
<b>重点プロジェクトのねらい</b>		身近な自然である「里地里山」や「清流」の保全を通して、中津川の自然環境の魅力や価値を高め、市民や来訪者が里地里山や清流に触れ合う機会を増やし、地域の活性化を図ります。
<b>個別事業①</b>	<b>事業名</b>	里地里山の保全活動と絡めたエコツアーの推進 エコツーリズム・アグリツーリズムの推進
	<b>事業内容</b>	市民や観光事業者と連携し、自然体験、農業体験、環境保全活動などの着地型観光を組み合わせた中津川版エコツーリズム・アグリツーリズムのメニュー開発や仕組みづくり、プロモーションに取り組みます。
	<b>期待される効果</b>	・市内外在住者のリピーター増加による市民交流の活性化 ・中津川市の魅力を知ってもらうことによる定住化の促進
	<b>所管課</b>	観光課、農業振興課、環境政策課
<b>関係主体</b>	観光事業者、中津川観光協会、環境団体、市民、市	
<b>個別事業②</b>	<b>事業名</b>	特定外来生物の分布調査及び駆除活動の推進
	<b>事業内容</b>	市内で繁殖を拡大し、この地域特有の里地里山の生態系や景観をこわし、また第一次産業などに被害を及ぼす特定外来生物や要注外来生物などの分布調査及び駆除活動を地域ぐるみで推進します。 《駆除対象の例》 特定外来植物：オオキンケイギク、アレチウリ、オオハンゴンソウなど 特定外来動物：アライグマ、ヌートリアなど 特定外来魚：ブラックバス、ブルーギルなど
	<b>期待される効果</b>	・外来生物問題に関する認識の共有化 ・広域での継続的な駆除の推進による特定外来生物の繁殖抑制
	<b>所管課</b>	環境政策課
	<b>関係主体</b>	市民、環境団体、市
<b>個別事業③</b>	<b>事業名</b>	有害鳥獣駆除の実施や有害鳥獣駆除隊員の育成
	<b>事業内容</b>	電気牧柵など防除対策への補助を推進するとともに、猟友会と連携しての有害鳥獣駆除を推進します。また、有害鳥獣駆除隊員を育成し、実施体制の強化を図ります。
	<b>期待される効果</b>	・有害鳥獣対策の理解促進 ・有害鳥獣対策の着実な実施
	<b>所管課</b>	林業振興課、農業振興課、環境政策課
	<b>関係主体</b>	農業事業者、猟友会、市

重点プロジェクト

重点プロジェクト名		里地里山及び清流の保全
個別事業④	事業名	里地里山及び清流の恵みの有効利用事業
	事業内容	里山の小径木、短尺材などの合板、木材製品などへの加工利用や特養林産物の利活用を推進するなど自然資源の有効活用を図るとともに、新たな特産品開発の推進を図ります。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・手入れ作業の促進による里地里山の再生</li> <li>・里地里山や清流の産物を有効活用した産業振興</li> </ul>
	所管課	林業振興課、農業振興課、環境政策課
	関係主体	農業事業者、市
個別事業⑤	事業名	里山林や遊休農地の活用推進
	事業内容	人の手がつかず手入れが放棄されている里山林や遊休農地について、新たな活用方法を模索し、整備・利用につなげるための仕組みづくりや具体的取組の実施等に向けた研究・検討、実証などを進めます。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・農村が抱える課題の解決と里地里山の再生</li> </ul>
	所管課	林業振興課、農業振興課、環境政策課
	関係主体	農林事業者、地域、市
個別事業⑥	事業名	生物多様性保全に関する市民啓発の推進
	事業内容	中津川市の自然環境や生き物、それらの保全活動などについて紹介する市民向けの啓発パンフレットガイドブックなどを作成し、また生物多様性に関する市民運動を環境団体などと企画・実施し、市民の生物多様性保全への理解と関心を深め、保全の取り組みを広げていきます。
	期待される効果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・市民の環境保全意識の高揚</li> <li>・市民レベルでの地域ぐるみの環境保全活動の創出</li> </ul>
	所管課	環境政策課
	関係主体	市、市民、環境団体、教育機関

